

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>徳島市中心市街地の下水道は、昭和23年に整備着手してから令和5年時点で75年が経過しており、管渠やポンプ場といった雨水処理施設の老朽化が進行している。</p> <p>また、近年の激甚化する豪雨に既存の雨水排水施設では対応が困難となっており、雨水排水能力の向上が急務となっている。</p> <p>これらのことから、激甚化する豪雨に対して雨水排除の機能を将来にわたって安定的に確保するため、管渠やポンプ施設といった雨水排水施設の増設及び改築を集中的に実施していくものである。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画における対象降雨：60mm/h（5年確率） ・ 目標とする理由：本市公共下水道事業計画及び都市下水道事業計画の計画降雨 ・ ハード整備による整備水準の目標：60mm/h（5年確率） <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命保護の観点：当該地区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能確保の観点：整備水準内の降雨を適切に排除し、道路交通をはじめとする都市機能を確保する。 iii) 個人財産保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策：施設整備により60mm/hの降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助：施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、危機管理部局が作成する内水ハザードマップを公開して市民へ情報提供し、被害を最小限に留めることを目的とする。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水 ハザード マップ 策定状況	平成23年3月 策定			
主な 事業内容	公 助	ハード 対策	下水道管理者	①合流管渠の改築 ・中央処理区 φ800~□2,200×2,200 L= 2.1 km
				②雨水排水設備の改築 ・八万ポンプ場 雨水ポンプ Q= 240 m ³ /min ポンプ場全体 Q=1,830 m ³ /min ・新浜ポンプ場 除塵機 W3,800×H4,550×2基 ・常三島ポンプ場 雨水ポンプ Q= 200 m ³ /min ポンプ場全体 Q= 700 m ³ /min
				③雨水排水設備の増設 ・田宮西排水ポンプ場 除塵機 W3,200×H3,900
		下水道管理者 以外		
	ソフト 対策	下水道管理者	浸水想定区域図の作成	
		下水道管理者 以外	内水ハザードマップの更新・公表（危機管理課）	
自 助	ハード 対策			
	ソフト 対策			

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

*下水道浸水被害軽減総合計画に基づき実施している事業の場合、既存の施設調書を添付すること

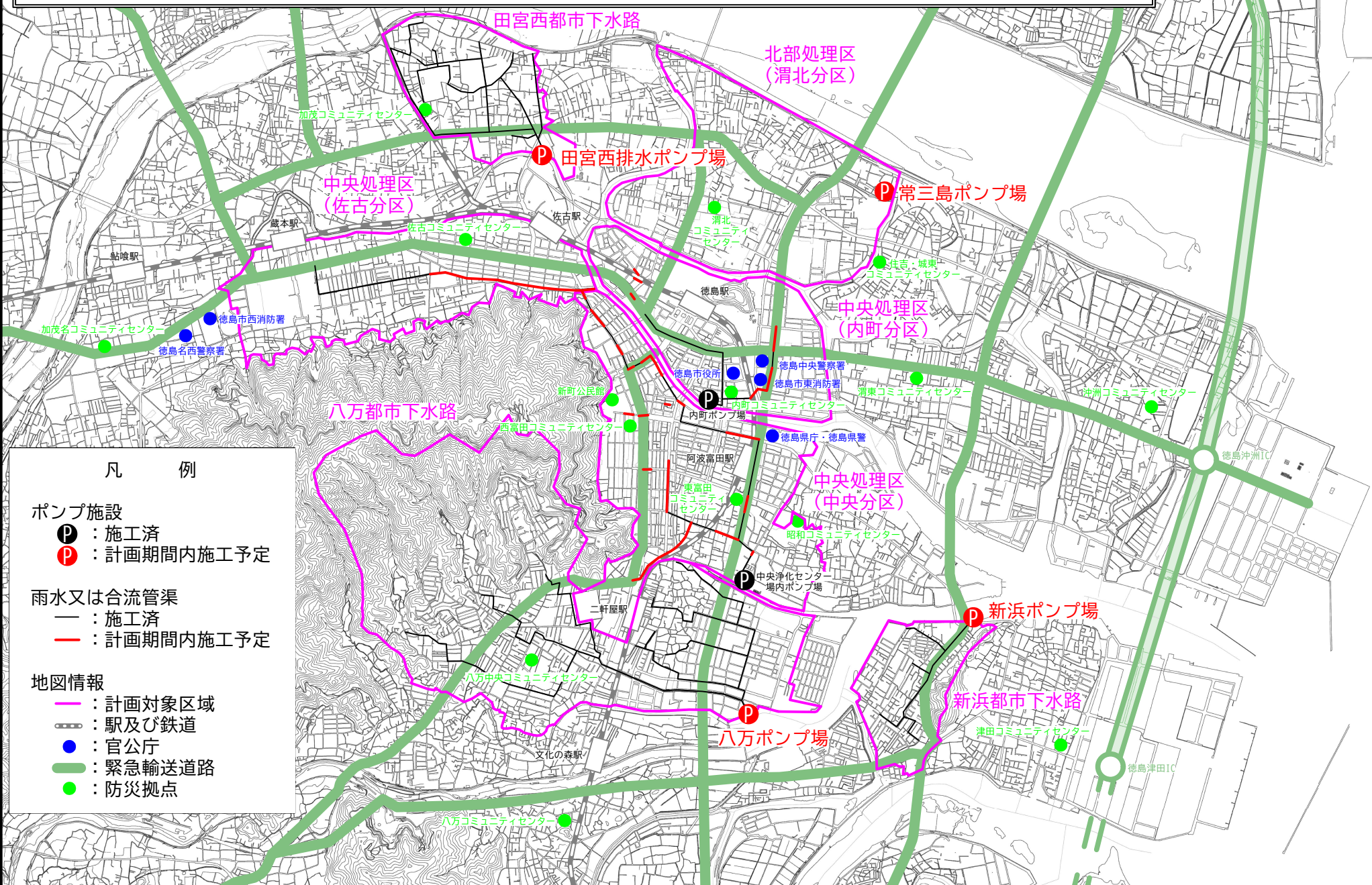
年度計画（百万円）

名称	令和6年度	令和7年度	計
合流管渠の改築（中央排水区）	555	636	1,191
雨水排水設備の改築	488	242	730
新浜ポンプ場（新浜都市下水路）	130	0	130
八万ポンプ場（八万都市下水路）	8	242	250
常三島ポンプ場（北部処理区）	350	0	350
雨水排水設備の増設	70	0	70
田宮西排水ポンプ場（田宮西都市下水路）	70	0	70
計	1,113	878	1,991

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。整備済のものは含めない。

項目	内容・施策等
整備効果	<p>老朽化が進んでいる以下の雨水排水施設について改築・新設を行い、雨水排水機能(60mm/h、5年確率)を適切に確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央処理区 合流管渠 75年経過 L= 2.1 km ・八万ポンプ場 雨水ポンプ 53年経過 Q= 240 m³/min ・新浜ポンプ場 除塵機 30年経過 ・常三島ポンプ場 雨水ポンプ 46年経過 Q= 200 m³/min ・田宮西排水ポンプ場 除塵機 今回増設
放流先河川との調整状況	本事業による流出量の増減は生じないことから、放流先河川との特段の調整は必要ない。
その他	特になし

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画 参考図面



- 凡 例**
- ポンプ施設**
 P : 施工済
 P : 計画期間内施工予定
- 雨水又は合流管渠**
 — : 施工済
 — : 計画期間内施工予定
- 地図情報**
 — : 計画対象区域
 — : 駅及び鉄道
 ● : 官公庁
 — : 緊急輸送道路
 ● : 防災拠点

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業（徳島県徳島市）

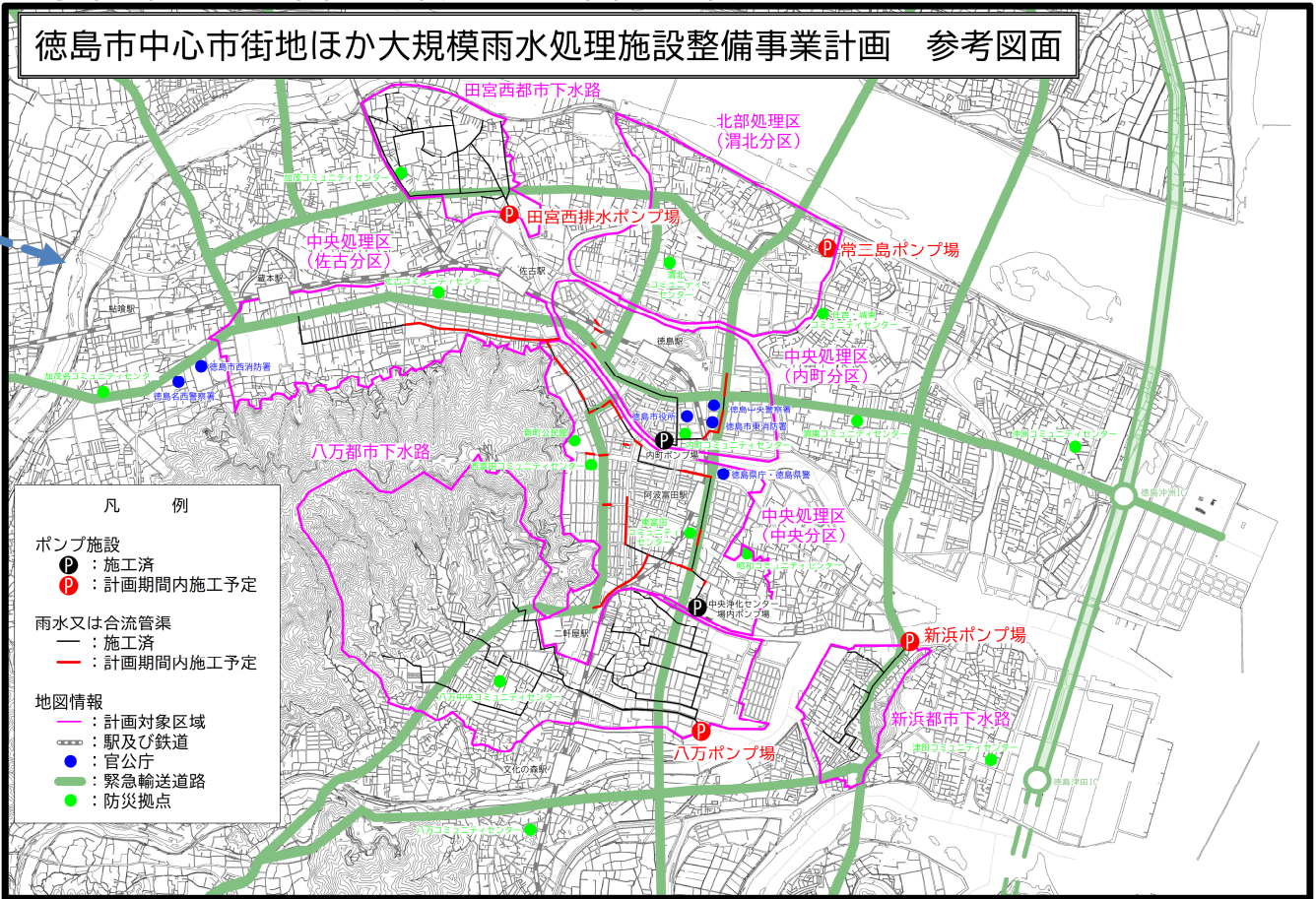
- 徳島市中心市街地では、平成28年9月の台風16号(時間最大雨量85.5mm/h)により、甚大な内水浸水被害が発生した。
- 本事業は、当該地区の雨水排除を担う管渠やポンプ施設の改築等を行うことで、60mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害の解消を図るものである。



事業概要

- 事業内容 合流管渠の改築 L= 2.1 km 等
- 全体事業費 約 19.9 億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 令和 6 年度 ~ 令和 7 年度

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画 参考図面



事業効果

- 老朽化が進行している雨水処理施設を改築することで、雨水処理能力を適切に発揮させ、計画降雨である60.0mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害を解消することができる。
- 床上浸水被害を解消することで、道路交通等の都市機能を確保することができるとともに、生命や個人財産を保護することもできる。